

# スマートジャパンの運用状況

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン  
追加型投信/国内/株式

2020年10月16日

- ・「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」は、10月6日に第13期の決算を迎えました。
- ・各ファンドの分配金300円(税引前)を含めた第13期の上昇率は米ドル投資型が28.7%、円投資型が32.6%となり、参考指数の上昇率を大きく上回りました。
- ・本レポートでは、第13期の運用経過のご報告、および投資先選定と投資判断における着眼ポイント、今後の運用方針等についてご案内いたします。

## 1. 第13期の投資環境

当期の国内株式市場は、新型コロナウイルスに対する警戒感の後退から大幅な上昇となりました。各国政府や中央銀行による積極的な財政、金融政策を好感し、世界的にリスク資産を買い戻す動きが優勢となり、6月上旬にかけて株式市場は戻りを試す展開となりました。6月中旬以降は感染拡大第2波への警戒感が高まり、上値の重い展開が続いたものの、安倍首相辞任による影響は限定的で、その後は菅新政権や経済活動正常化への期待などからじり高の展開となりました。

外国為替市場は、米国でのコロナ感染再拡大懸念や米国の金利低下と大規模な財政・金融政策などを背景に、円高米ドル安となりました。

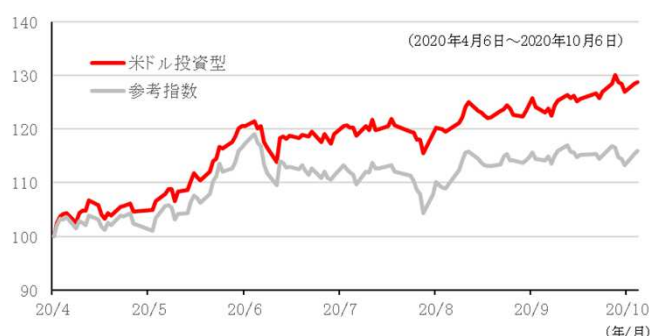
## 2. 第13期の基準価額の状況

このような市場環境の中、米ドル投資型の基準価額は、前期末の8,328円から当期末には10,419円となり、分配金300円(税引前)を含めた上昇率は28.7%となりました。また、円投資型の基準価額は、前期末の8,138円から当期末には10,494円となり、分配金300円(同)を含めた上昇率は32.6%となりました。当ファンドの騰落率は、いずれも参考指数を大きく上回る上昇となりました(図表1~3)。

中堅・中小企業の事業継承型M&Aの仲介で、全国の地銀との提携による情報を活用し、業績を拡大させている日本M&Aセンター、ダウンロードでのゲーム購入比率上昇による収益性改善に加え、中国販売の拡大が期待されるコーエーテクモホールディングスなどが基準価額に対しプラスに寄与しました。一方、米ドル投資型につきましては、期中に米ドルが対円で下落したことが基準価額に対しマイナスに影響しました。

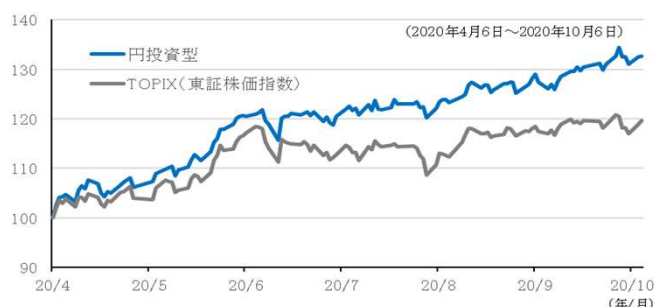
当期の分配につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、米ドル投資型、円投資型ともに、1万口当たり300円(税引前)とさせていただきます。

【図表1】基準価額(米ドル投資型)と参考指数の推移



- ※ 米ドル投資型の基準価額と参考指数を前期決算日(2020年4月6日)を100として指数化。
- ※ 参考指数はTOPIX(東証株価指数)と米ドル(対円)を合成した指数です。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

【図表2】基準価額(円投資型)と参考指数の推移



- ※ 円投資型の基準価額と参考指数を前期決算日(2020年4月6日)を100として指数化。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

【図表3】第13期の騰落率

	米ドル投資型	円投資型
基準価額(分配金込み)	28.7%	32.6%
参考指数	16.0%	19.6%
円/米ドル	-3.0%	

- ※参考指数は、米ドル投資型はTOPIX(東証株価指数)と米ドル(対円)を合成した指数、円投資型はTOPIX(東証株価指数)です。
- ※騰落率は過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン  
追加型投信/国内/株式**

### 3.第13期の運用状況

当期は、高い競争力と固有の成長ドライバーを有し、景気停滞が長期化しても比較的堅調な業績が見込めると判断した優良成長企業を組入上位とした運用を行いました。(次ページ:組入上位20銘柄を参照)

主な売買銘柄(図表4)では、有効性が高いがん治療薬で新薬のポテンシャルが高まっていると判断した**第一三共**や、海外で省エネかつ温度精度が高いタンクレス給湯器の販売が伸長している**リンナイ**などを新規に買い付けました。

**【図表4】第13期の主な売買銘柄  
(マザーファンド)**

<b>買付</b>	第一三共	<b>売却</b>	中外製薬
	TDK		太陽誘電
	リンナイ		東海旅客鉄道
	コーエーテクモHD		清水建設
	アリアケジャパン		日本水産

(期間)2020年4月7日～2020年10月6日)

※上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

※当ファンドの運用は、マザーファンドを通じて行っております

### 4.投資先選定と投資判断における着眼ポイント

当ファンドでは、収益性に優れ、成長の持続が期待される企業のうち、ROEや売上高営業利益率などの収益性を示す財務指標等に着眼し、銘柄選定を行っております。さらにボトムアップの調査活動を通じて、**企業競争力の優位性、長期的な成長性**に着眼することで、長期に渡って持続的な成長を実現することができる日本の優良成長企業を選別しております。

企業競争力の源泉が他社が模倣できない、あるいは模倣しにくいものであるか、また一過性のブームや外部環境の変化などによるものでない**構造的な成長要因**を有しているかが判断基準となります。これにより競合とのシェア争いや価格競争に陥ることなく、長期に渡って高い収益を稼ぎ、自ら成長を掴んでいくことができる企業を選別しております。これらの選別された成長企業への投資を通じて、投資先企業の持続的な企業価値向上と共に投資信託財産の成長を実現していきたいと考えています。

ただ、企業競争力の高い成長企業は既に市場に認知され、株価が割高になっていることも少なくありません。**最終的な投資判断**においては、**短期的な業績動向**にも留意して、最適と考えられる投資タイミングを計り、株価に織り込まれていない**市場コンセンサスと我々の見方の違い**を明確にします。加えて、株価指標などを通じて株価の上昇余地を分析し、それが実現される確度に応じて組入比率をコントロールしてリスクリターンバランスを図ることで、パフォーマンスの向上に努めていく方針です。

### 5.今後の投資環境見通しと運用方針

国内株式市場は**企業業績の回復と新政権への期待から底堅い展開**が予想されます。10月下旬から本格化する2020年度上期決算発表では、新しい生活様式が追い風となっている企業の業績は好調を維持し、コロナ禍が逆風となっていた企業の業績も最悪期を脱する見通しです。今後はマーケットの焦点が徐々に来期業績に移行する中、**企業業本来の競争力や経営変化への対応力の違い**がより顕在化し、同一業種や成長株の中でも、**企業ごとの業績やパフォーマンスの格差**が鮮明化すると思われれます。

当ファンドにおきましては、**来期以降の持続的な成長への回帰が株価に織り込まれていない上昇ポテンシャルの高い優良成長企業**に着眼して、新規組入れや買増しを進めていく方針です。

**<本資料に関してご留意いただきたい事項>**

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン  
追加型投信/国内/株式

運用状況

(作成基準日：2020年10月6日)

ファンドの概要

	米ドル投資型	円投資型
基準価額	10,419円	10,494円
純資産総額	3,172,452,027円	454,559,641円
設定来分配金累計	5,800円	4,700円
分配金再投資基準価額	17,220円	15,924円

※基準価額は1万口当たりです。  
※分配金は1万口当たり、税引前です。  
※分配金再投資基準価額は小数点以下を切り捨てて算出しております。

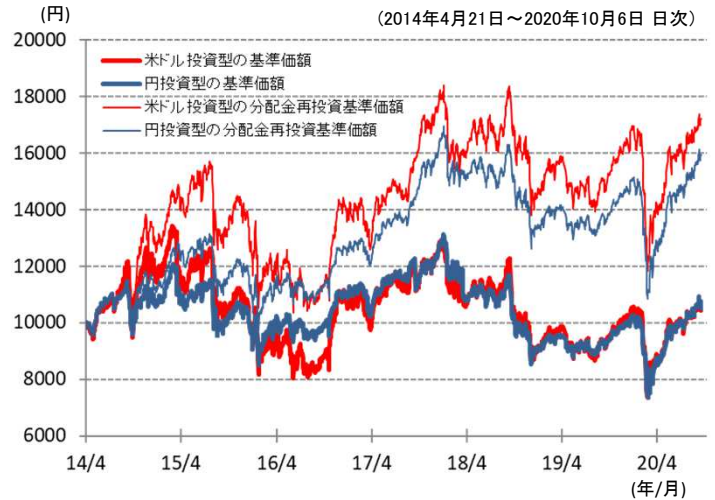
	米ドル投資型	円投資型
株式組入比率	92.0%	91.2%
マザーファンド	95.8%	94.9%
為替予約比率	98.2%	---

※株式組入比率は、日本優良成長株マザーファンドを通じた株式の実質組入比率です。  
※為替予約比率は、純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引額の比率です。

日本優良成長株マザーファンド	
株式組入比率	96.1%
組入銘柄数	59銘柄

※株式組入比率は日本優良成長株マザーファンドにおける株式の組入比率です。

設定来の基準価額の推移



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
※設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。  
※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	電気機器	18.6 %
2	情報・通信業	13.3 %
3	化学	9.6 %
4	医薬品	6.8 %
5	サービス業	5.8 %
6	精密機器	5.6 %
7	機械	5.3 %
8	その他金融業	4.6 %
9	その他製品	4.5 %
10	小売業	3.9 %

組入上位20銘柄

順位	銘柄名	構成比	順位	銘柄名	構成比
1	HOYA	3.8 %	11	第一三共	2.6 %
2	キーエンス	3.7 %	12	TDK	2.6 %
3	信越化学工業	3.4 %	13	コーエーテクモホールディングス	2.5 %
4	SBIホールディングス	3.4 %	14	リンナイ	2.3 %
5	日本M&Aセンター	3.4 %	15	TOYO TIRE	2.3 %
6	任天堂	3.3 %	16	ペプシドリーム	2.2 %
7	ソニー	3.2 %	17	ファーストリテイリング	2.1 %
8	ダイキン工業	2.8 %	18	オリックス	2.1 %
9	東京海上ホールディングス	2.8 %	19	日本新薬	2.0 %
10	ユニ・チャーム	2.6 %	20	日本電産	2.0 %

※業種、銘柄の各構成比は、日本優良成長株マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

スマートジャパン ファンドの特色

- 日本優良成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます）株式のうち、収益性に優れ、成長の持続が期待される企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 投資候補銘柄の選定にあたっては、主にROE（自己資本利益率）や売上高営業利益率などの収益性を表す財務指標の水準、方向性、変化等に着目します。
- ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、業種別比率等を勘案して行います。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。
- 「米ドル投資型」については、原則として円売り米ドル買いの外国為替予約取引等を行い、米ドルへの投資効果を楽しむことを目指します。純資産総額に対する円売り米ドル買いの外国為替予約取引等の額は、原則として高位とすることを基本とします。
- 「円投資型」については、外国為替予約取引等は行いません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型) 愛称 スマートジャパン  
追加型投信/国内/株式

日本優良成長株オープン(米ドル投資型)/(円投資型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様への投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
  - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）  
「米ドル投資型」と「円投資型」の各ファンド間でのスイッチング（乗換え）により、同一の販売会社でファンドを買付ける場合には、購入時手数料の一部または全部の割引を受けられる場合があります。  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
  - 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.694%（税抜1.54%）
  - その他費用・手数料
    - 監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

### 販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
*西日本シティTT証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

\*西日本シティTT証券株式会社は、「米ドル投資型」のみの取扱いとなります。

**<本資料に関するお問合わせ先>**

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)